

# 丁寧に仕事をするということ

信頼を築く  
ビジネスマンと  
しての第一歩

作成:平山貴浩

はじめに

精密機械の  
プロとして

測定器の  
番人として

---

校正を行う会社の「信頼」  
は、日々の小さな仕事の積  
み重ねから生まれます。

---

---

その土台となるのが「丁寧  
に仕事をする事」。

---

---

その意味と価値を、事例と  
ともに見ていきます。

---

①  
ミス信こ  
ミなうる  
なき失あ  
さ大をが  
小が頼と

---

## Key Point !

丁寧さは“信頼”を積み上げる土台

---

校正証明書の一つのミスで「信頼できない」と見なされることも。

---

細部まで正確であれば、安心感・信頼感が増す。

確認のひと手間を惜しまないことが、トラブルを未然に防ぐ

②  
もう一度確認  
がミスを防ぐ

【例えば】メール送信前の確認で、誤送信を回避

【ミス防止】添付漏れや誤字脱字も丁寧な確認で防げる

---

## 次の人への思いやりが 「プロの仕事」

---

### ③ 誰かの作業 を“楽にする”のが丁寧な仕事

---

【事例】引き継ぎの連絡が丁寧だったおかげで、佐藤さんがスムーズに対応

---

---

【補足】"誰のためにするか"を意識すると、仕事の「質」が変わる

---

④  
雑な仕事  
は“二度手  
間”になり  
やすい

---

最初に丁寧にやれば、  
結果的に早い

---

---

【事例】平山の勘違い  
で見積書の修正対応...  
手間が倍増

---

---

【メリット】丁寧さは“  
時間の節約”にもつなが  
る

---

⑤  
“誰がやったか”は仕事  
の空気に残る

---

【心を込める】丁寧な仕事には、あなたの名前が宿る

---

【事例】「渡辺さんがやったなら安心」と言われる存在に

---

丁寧な仕事は、信頼とチャンスを生む

まとめ

ヒトも  
会社も  
**ONLY ONE**  
として

---

丁寧に行事をするこは、  
誰にでもできる“最高の武器”です。

---

---

一つひとつを丁寧に積み重ねること、信頼、評価、成長へとつながります。

---

---

「未来の自分」のために、  
何事も丁寧に取組んでいきましょう。

---